



すみっこぐらし あむあむたまごピンク

TAKARA TOMY®

対象年齢
6才以上

保護者の方と
お読みください

乾電池は使用しません。
NO BATTERIES REQUIRED.

©2020 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

取り扱い説明書 & あみぐるみなどのつくり方

この度は、タカラトミー「あむあむたまごピンク」をお買い上げ
いただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取り扱い説明書（本書）をよくお読みください。
また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。



警告（けいこく）

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機能上尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

注意（ちゅうい）

- 毛糸を首にかけてぶざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフックなどに指や髪の毛や衣服などををはさまれないように注意してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

<使用上のお願い> ○ご使用の前に、取り扱い説明書（本書）をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないよう注意してください。○はさみを使うときは十分注意してください。○プラスチック袋は包装材ですので開封後はすぐに捨ててください。

- パッケージのイラストと写真は実際の商品と多少異なる場合があります。
- セット内容以外の毛糸とフェルトは内容物に含まれておりませんのでご了承ください。

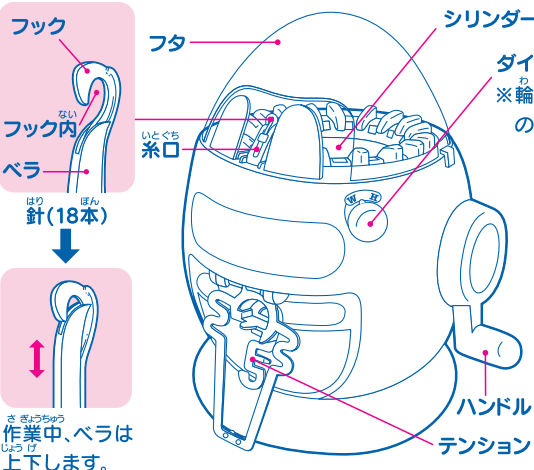
目次

- 編みはじめる前の準備……………P1
- 輪あみの編み方……………P2
- 編み終わったあとの処理……………P2
- 輪あみの編み終わり・編みはじめるしまつの仕方……………P3
- 平あみの編み方……………P4
- 平あみの編み終わり・編みはじめるしまつの仕方……………P5
- ボンボンのつくり方……………P5
- みにっこボンボンマスコットのつくり方……………P6
- すみっこぐらしのあみぐるみマスコットのつくり方……………P7
- フェルトパーツ……………P14

セット内容

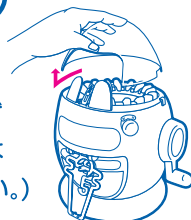
- 本体……………1コ
- テンション……………1コ
- ボンボン糸巻き……………1コ
- 毛糸ガイド……………1コ
- 毛糸針……………1本
- 毛糸（茶、白、クリーム、黄緑、水色）各1コ
- 綿……………1コ
- フェルト（茶、白、黄色、水色、クリーム、ピンク、うす茶）……………各1枚
- 取り扱い説明書（本書）……………1冊

あむあむたまごピンクの各部の名前



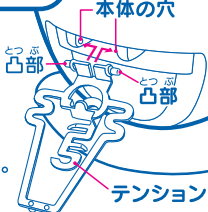
フタのはずし方

フタを左（反時計回り）にまわし、もちあげてはずします。（セットするときは逆の手順で行ってください。）



テンションのつけ方

図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。



編みはじめる前の準備

※セット内容の毛糸は「すみっこぐらしのあみぐるみマスコット」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸で行いましょう。

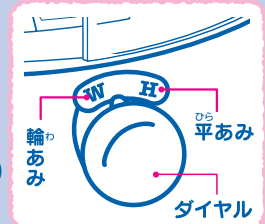
毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほぐして入れましょう。



毛糸をセットする前に

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



油性ペンで印をつけよう!

- ①ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ②ハンドルを後ろまわりに止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



※遊んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどこしましょう。

毛糸をセットしましょう

- ① シリンダーの中へ下につくくらい毛糸を垂らします。(約20cm)

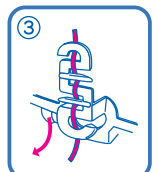
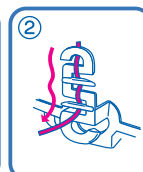
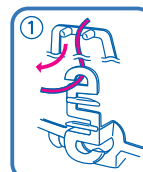
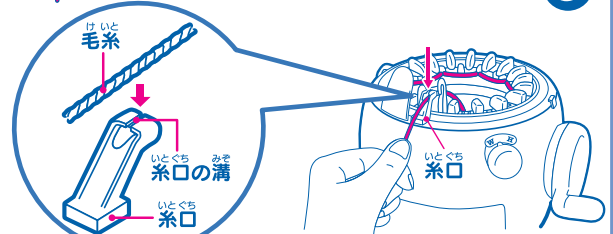
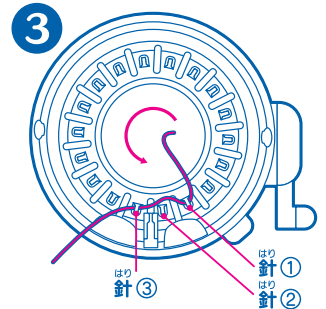
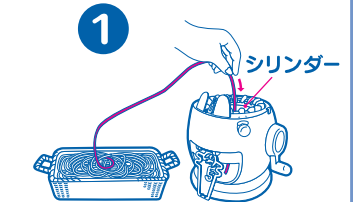
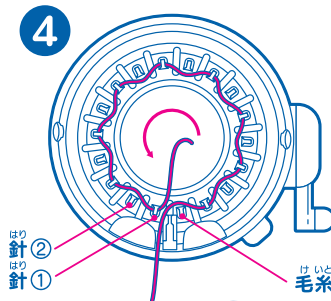
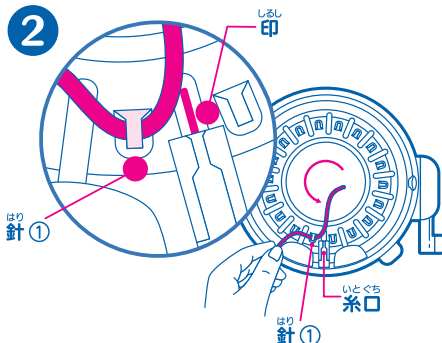
- ② 糸口に印を合わせ、印の左側針①のフック内に毛糸を通します。毛糸が外れないようにハンドルを奥(前まわり)に少しまわします。

- ③ ゆっくりハンドルを奥(前まわり)にまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。

- ④ 同じように毛糸を、フックの前、後ろと動かしながら一周させます。正しく毛糸がかかっていれば、毛糸は最後の針の後ろを通っています。

- ⑤ 糸口の溝に、上から毛糸を通します。

- ⑥ テンションを上を持ち上げ、①～③の順に毛糸を通し、フタをセットして準備完了です。



輪あみの編み方

輪あみの仕上がり

編み地の直径約6cm 長さは自由



※ダイヤルが輪あみ(W)になっていることを確認しましょう。

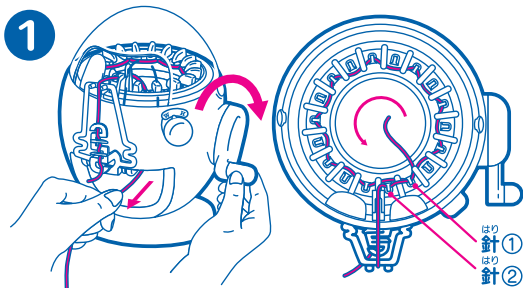
- 1 ハンドルをまわして編んでいきます。
輪あみのときはいつも、前まわりにまわしてください。
最初の2周は中にたらしした毛糸を軽く引っばって、
ハンドルをまわしてください。

注意：ハンドルは乱暴にまわさないでください。

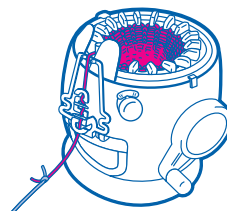
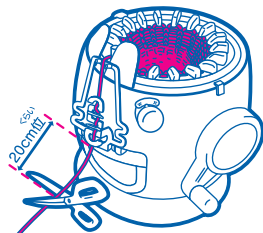
：ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてください。

：本体を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。

：ハンドルを戻したり後ろまわりにまわさないでください。

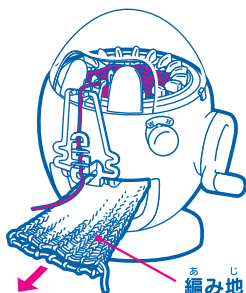


毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは…



図のように毛糸を切り、新しい毛糸を結びつけます。
毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

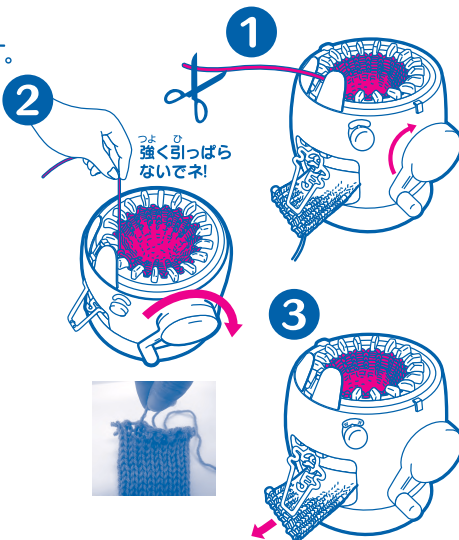
- 2 編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。
編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っばるようにしましょう。
(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っばる…など)

編み終わったら

- 1 テンション・糸口から毛糸ははずします。
まず、20cmぐらい残して毛糸を切ります。
- 2 毛糸をもって、ハンドルを前まわりにまわし、シリンダーを1周させます。
- 3 編みあがった作品は、本体の下に取り出し口からそとに取り出します。
編み目がほどけないように、注意しましょう。
- 4 編み終わりの毛糸はそのまま残しておきます。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあったら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



輪あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

輪あみの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

しまつをしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っぱって、1段(1周)ほどいってください。
※長すぎるときは、1段ほどいた後、約20cmのところで切ってください。

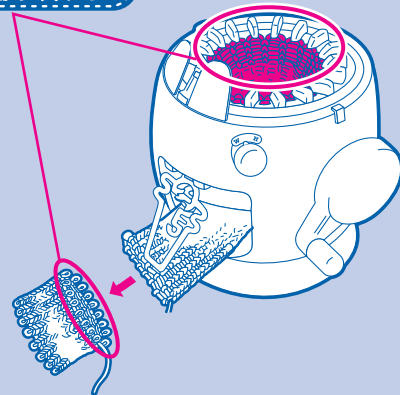


針に毛糸を通しやすくするために…

セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。
通したらセロハンテープははずしましょう。



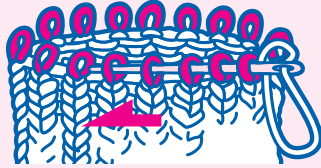
編み終わり



① 残り糸に毛糸針を通します。



② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。



③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合

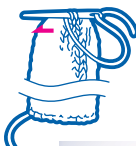


しぼらない場合

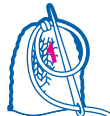


① 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っぱり穴をふさぎます。

② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



③ 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



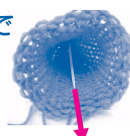
<残った毛糸をかくす場合>

④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



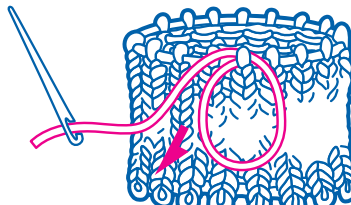
⑤ 内側から通した毛糸を引っぱります。

※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。

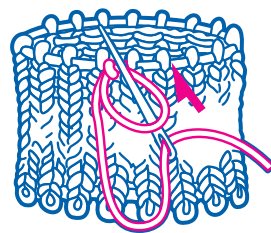


毛糸針を引っぱる

① 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



② 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



輪あみの編みはじめのしまつの仕方

★注意：編み地に1周通す必要はありません。

しぼる場合

- 1 残った毛糸をゆっくりと引っぱり、穴をふさぎます。
- 2 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



- 3 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



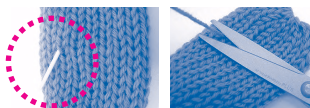
<残った毛糸をかくす場合>

- 4 てっぺんから毛糸針を内側に入れます。

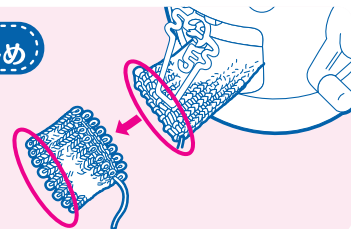


- 5 内側から通した毛糸を引っぱります。

※余分な毛糸ははさみで切るか、中に入れます。

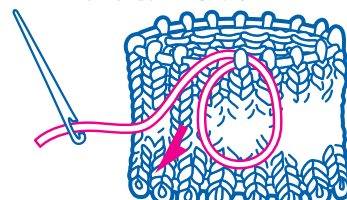


編みはじめ

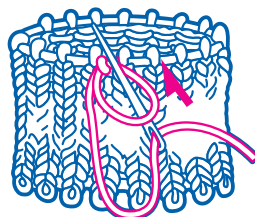


しぼらない場合

- 1 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- 2 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



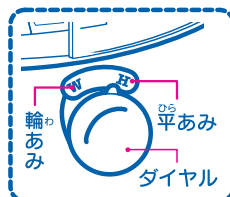
平あみの編み方

平あみの仕上がり

編み地の直径約10cm 長さは自由



- 1 フタをはずして、ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。



- 2 ハンドルを後ろまわりに止まるまでまわします。

★注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がしますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

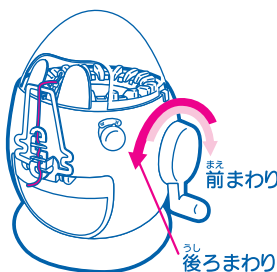
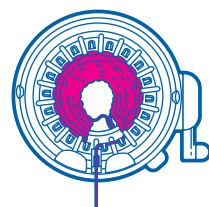
- 3 編む前にあき箱などにほぐしておいた毛糸を、1ページ<毛糸をセットしよう>の手順を見てセットしましょう。(セット時は前まわりにハンドルをゆっくりまわします。)

- 4 平あみはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを後ろまわりにまわし、止まったらまた前まわりにまわします。この作業をくり返します。

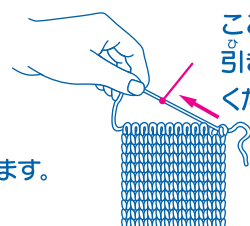
※1列目は内側に垂らした毛糸を軽く引っ張って編みましょう。

★注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

- 5 すきな段数分編めたら、ダイヤルを輪あみ(W)に合わせて、編み地をとりはずします。2ページの編み終わったらと同じ方法ではずしてね。



編み始めのこの毛糸を引き抜いてください。

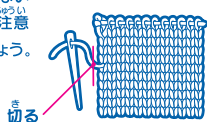
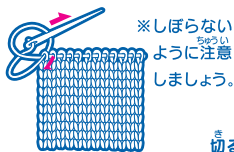
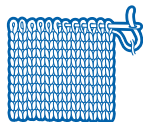


平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平あみの編み終わりのしまつの仕方

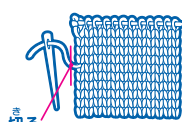
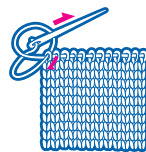
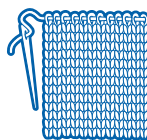
★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

- ① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっているすべての編み目に、毛糸針を通して結びます。
- ② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を下から通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。



平あみの編みはじめのしまつの仕方

- ① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。
- ② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を下から通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。



平あみで編んだ編み地を二つ折りにして両サイドをとじる処理法

- ① 毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながら閉じていきます。

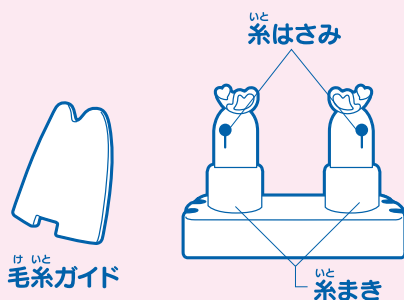


- ② 毛糸がつれないように引っ張り閉じます。



ポンポンのつくり方

ポンポン糸巻



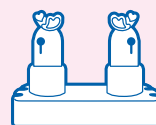
ポンポンの大きさがえらべます

糸まきをまわして、間隔を変えるとポンポンの大きさを変わります。

小 約5.5cmのポンポン

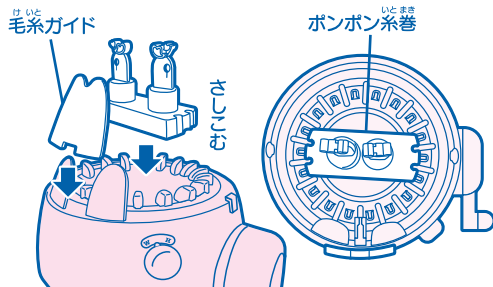


大 約6.5cmのポンポン



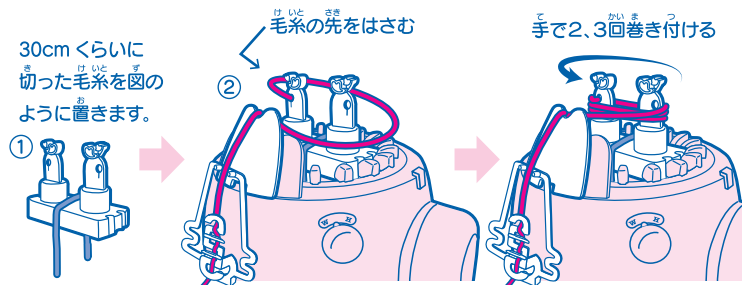
1 ポンポン糸巻をセットします

本体のフタをはずし、ダイヤルを輪あみにします。次にポンポン糸巻をシリンドラのツメの間にさしこみ、毛糸ガイドを本体にとりつけます。



2 毛糸をセットします

- ① 30cmくらいに切った毛糸を図のように置きます。
- ② ①とは別の毛糸の先を糸はさみの穴に入れ、下にさげて毛糸を固定したあと、手で2～3回巻き付ます。次に毛糸ガイドを通して、テンションに毛糸を通し、フタをします。

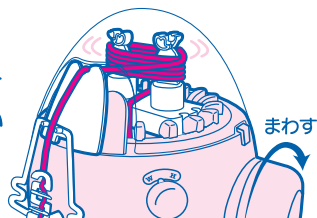


※ポンポン糸巻の上下を間違えないようにしてください。

フタをしないと毛糸がうまく巻けません。

3 毛糸を巻き付けます

ハンドルをくるくるまわして、ポンポン糸巻に毛糸を巻き付けていきます。適量の毛糸を巻き付けるのには、ハンドルを50～100回くらいまわします。終わったら長い糸を切り、残りをポンポン糸巻に手で巻きつけます。

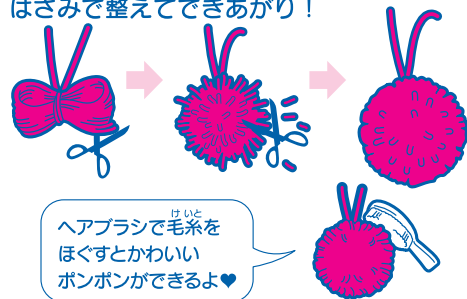
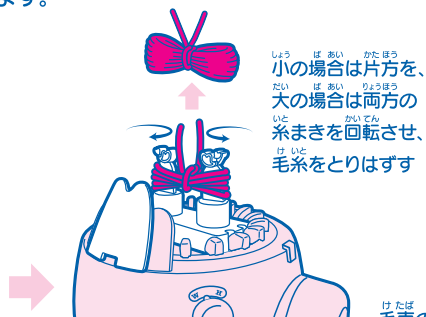


4 毛糸を結びます

2でセットしておいた毛糸で、巻き終わった毛糸のたばの中央を軽く結び、糸まきを回転させてとりはずします。とりはずしてから、かたく二度結びしておきます。

5 形を整えます

はさみで毛糸のたばの両はしを切りひらいて球にしたなら、つくりたい大きさに毛糸をはさみで整えてできあがり！



ヘアブラシで毛糸をほぐすとかわいいポンポンができるよ♡

毛束の毛量が少ないと思ったら2つ重ねてから球にするといいかも♡

ミニッコのポンポンマスコットのつくり方

用意する物

☆市販の物……●毛糸（各ミニッコの体と同じ色）●フェルト●ボンド●はさみ

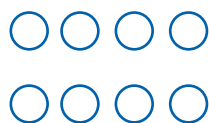
- 手と足のつくりかたは10ページを参考につくってね。
- フェルトパーツは市販の毛糸で作つくれるミニッコのポンポンマスコットの型紙です。
- この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。●はさみで切る際には十分注意してください。

フェルトパーツ

- たひおか
- えびふらいのしっぽ
- ふろしき



- ほこり
- ざっそう



ふろしきの柄(白)

体ができたらフェルトをはってね！

えびふらいのしっぽ



- ①黄色の毛糸でポンポンをつくります。
- ②体と同じ色の手と足をつくり縫い付けます。
- ③赤の毛糸をくさりあみしてえびのしっぽ部分を縫い付けます。

ざっそう



- ①黄緑の毛糸でポンポンをつくります。
- ②ざっそうの形に切ります
- ③黄色の毛糸をくさりあみして足をつくり縫い付けます。

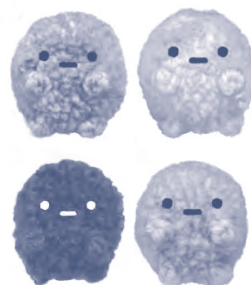
しほ 絞り部分



ふろしき

- ①ピンクの毛糸でポンポンをつくります。
- ②ピンク毛糸で絞り部分をくさりあみして縫い付けます。

たひおか



たひおか(ブルー)
水色の毛糸

たひおか(イエロー)
黄色の毛糸

たひおか(ピンク)
ピンクの毛糸

ブラックたひおか
こげ茶の毛糸

ほこり



- ①グレーの毛糸でポンポンをつくります。
- ②茶の毛糸で足をつくり縫い付けます。

すみっコぐらしのあみぐるみマスコットの作り方

用意する物

☆セット内 …… ●毛糸 ●フェルト (目・口・鼻・耳・おなか・からだの模様) ●毛糸針 ●綿
☆その他 …… ●バンド ●はさみ

段数を数えやすくするために

油性ペンで印をつけます。

くわしい説明は1ページ

油性ペンで印をつけよう

を読んでください。



後処理をしやすいようにするために

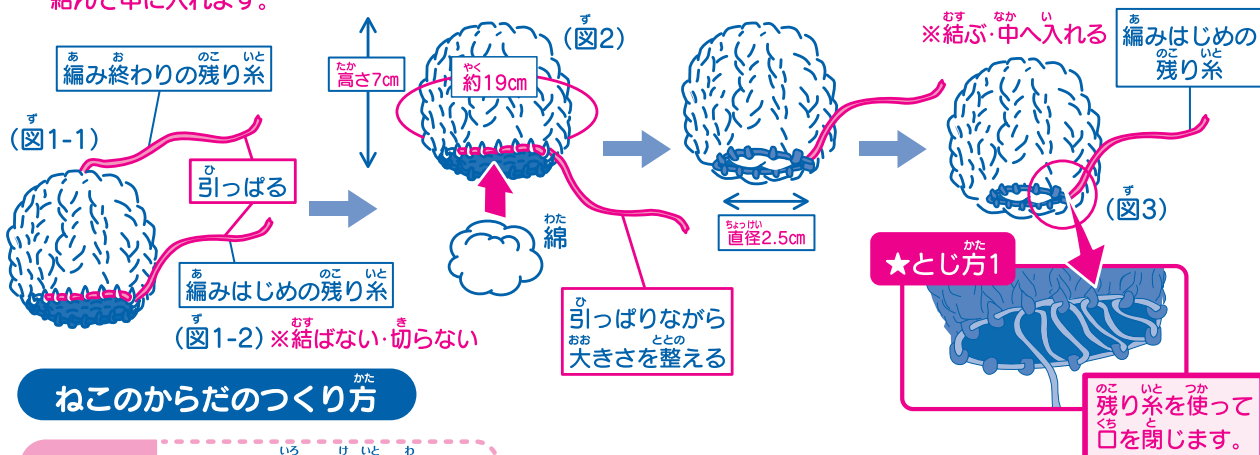
編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、
つくり方に書かれている段数は1段多くなっています。
各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいてから、後処理をしてください。
※編み終わったら本体からはずして、1段ほどいてから約20cmのところをはさみで切ってください。
※編みはじめは約20cmを本体中央にたらしってください。

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。 ※セットした毛糸は段数に含まれません。

とんかつ・ペンギン?のからだの作り方

とんかつ (茶の毛糸/輪あみ) ペンギン? (黄緑の毛糸/輪あみ) ※つくり方は同じです。

- ① ダイヤルを輪あみにしてペンギン?は16段、とんかつは15段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきます。
- ② 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」の方法でしまつします。(図1-1)
- ③ 編みはじめの残り糸も引っぱって、口の大きさが編み地の幅と同じぐらいになるようにしぼります。
糸は結ばず残します。(図1-2)
- ④ 編み地に綿を詰め、残り糸を引っぱりながら、からだの形の高さ約7cm・からだの周り約19cmに整えます。(図2)
- ⑤ 綿を詰めた口が直径2.5cmになるようにしぼり、(図3) 編みはじめの残り糸を使ってとじます。(★と同じ方1) 残り糸は結んで中に入れます。



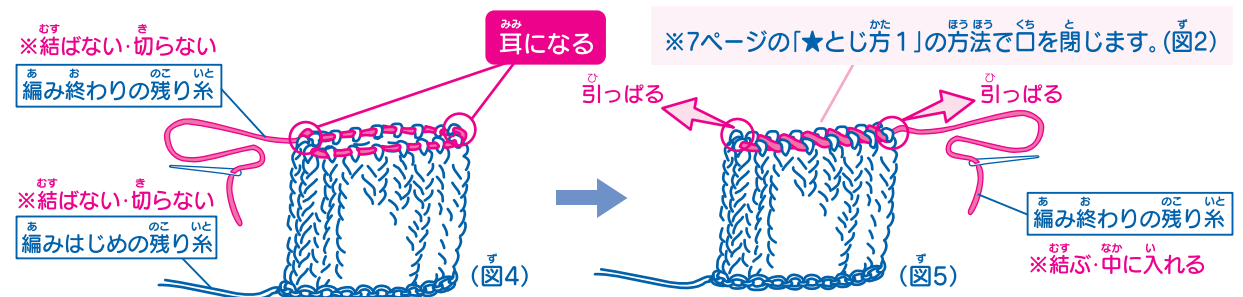
ねこのからだの作り方

ねこ (クリーム色の毛糸/輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにして17段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきます。
- ② 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に1周通します。糸はしぼったり、結んだりせずに残します。
- ③ 編み終わりの糸を引っぱりながら、四角い編み地になるように整えます。糸はしぼったり、結んだりせずに残します。(図4)

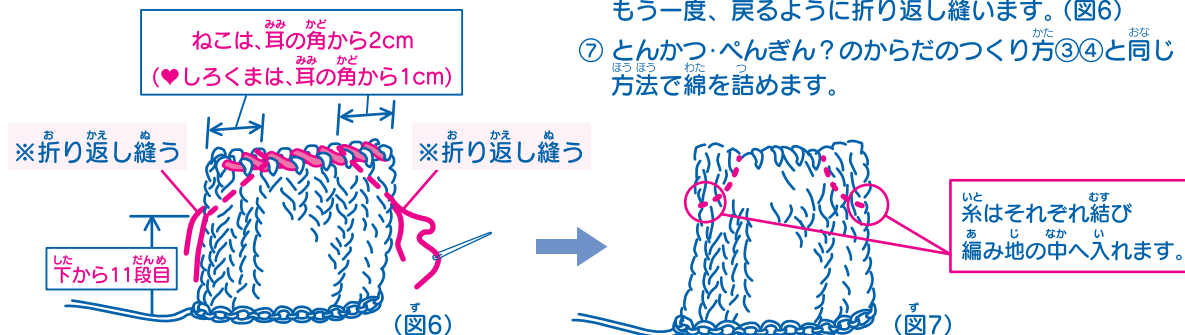
④ 編み終わりの残り糸を使って7ページの「★とじ方1」の方法で口をとじます。

⑤ とじ終わったら、耳になる両方の角を引っ張り、ねこの耳の先が、とがるように整えます。(図5) 残り糸は結んで中に入れます。



⑥ ねこの耳を作るため、別の糸で編み地の下から11段目から耳の角から2cmまで、ななめに縫います。下の面まで縫わないように注意して縫い、そこから、縫いはじめまでもう一度、戻るように折り返し縫います。(図6)

⑦ とんかつ・ぺんぎん?のからだのつくり方③④と同じ方法で綿を詰めます。



⑧ 縫いはじめ糸と縫い終わりの糸を耳の形に整えながら結び、中へ入れ (図7) ねこのからだを仕上げます。(図2、3)

しろくまのからだのつくり方

しろくま (白の毛糸/輪あみ)

① ねこのからだのつくり方①～③までと同じ方法でつくります。(図4)

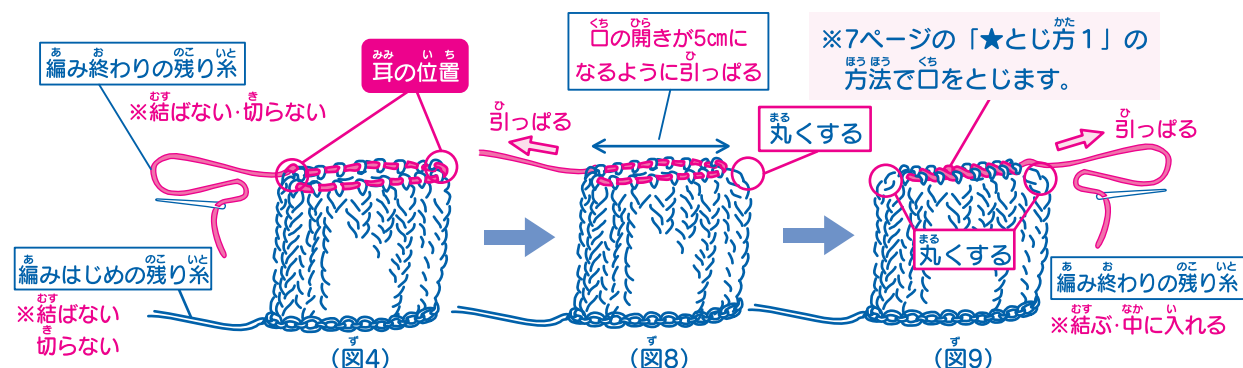
② たたんだ編み地の口の長さが約5cmになるまで編み終わりの糸を少しづつ引っ張り、耳の位置を丸くします。(図8)

③ 編み終わりの残り糸で7ページの「★とじ方1」の方法で口をとじます。残り糸は結ばず、残します。

④ 残り糸を少しづつ引っ掛けて、②で丸くした角と同じように反対側の角も丸くします。残り糸は結び中へ入れます。

⑤ ねこのからだのつくり方⑥の方法で耳の角から1cmまで縫います(図6-♡、図7)。しろくまは下の面も一緒に縫います。

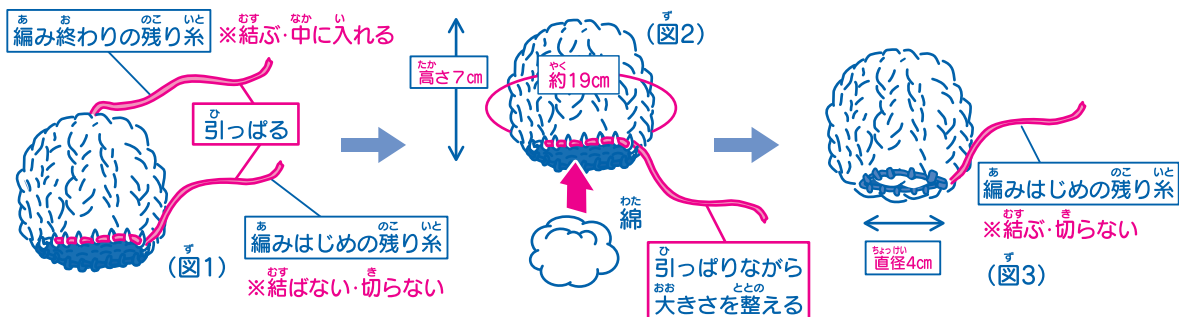
⑥ とんかつ・ぺんぎん?のからだのつくり方③④⑤と同じ方法で綿を詰め、しろくまのからだを仕上げます。



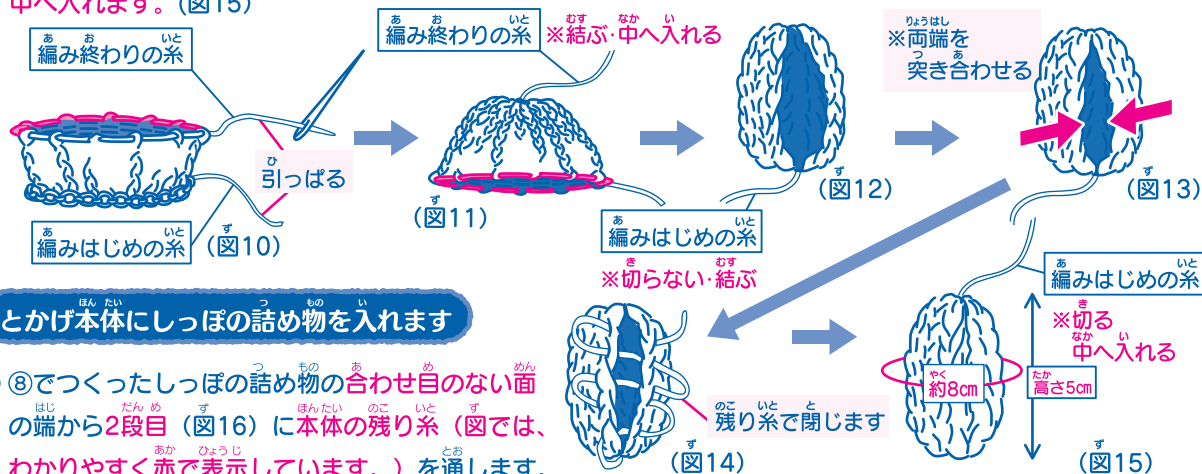
とかげのからだのつくり方

とかげ・しっぽの詰め物 (水色の毛糸/輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにして15段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきめます。
- ② とんかつ・ペンギン?のからだのつくり方②③と同じ方法でつくりします。(図1)
- ③ 編み地に、綿を詰め、編み始めの残り糸を引っ張りながら、からだの高さ約7cm・からだの回り約19cmに整えます。(図2)
- ④ 綿を詰めた口を直径4cmになるようにしぼり、糸は結び残します。(図3)

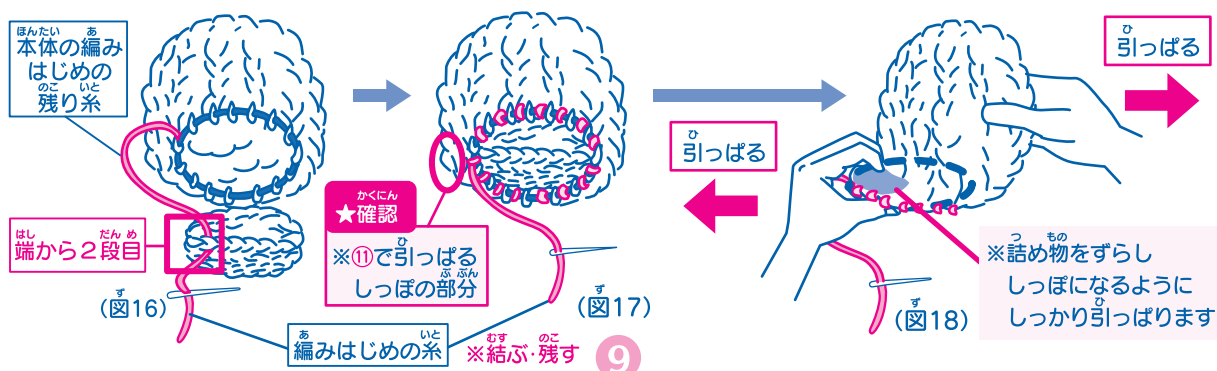


- ⑤ とかげのしっぽの詰め物をダイヤルを輪あみにして10段編みます。編み地を本体からはずし、1段ほどきめます。
- ⑥ 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」でしまつします。(図10・11)
- ⑦ 編みはじめの残り糸も引っばってしぼります。糸は結び残します。(図12)
- ⑧ 編み地の両端を突き合わせ(図13)残り糸で縫い合わせます。(図14)長さ5cm・編み地周り8cmに整え、糸は結んで中へ入れます。(図15)

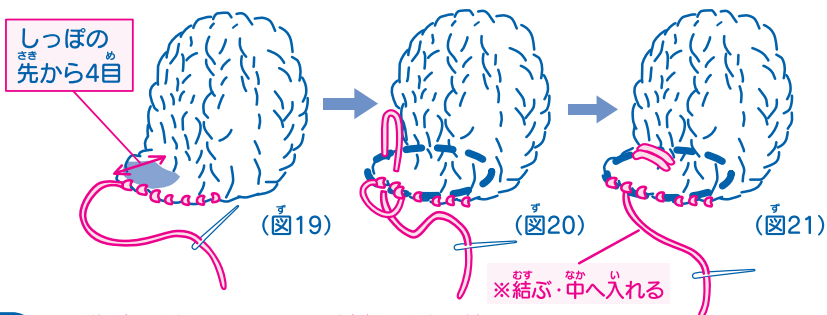


とかげ本体にしっぽの詰め物を入れます

- ⑨ ⑧でつくったしっぽの詰め物の合わせ目のない面の端から2段目(図16)に本体の残り糸(図では、わかりやすく赤で表示しています。)を通します。
- ⑩ 糸を通した面を外側にして、底(おしり)が平らになるように、本体の口へ入れ、しっぽの詰め物と口を縫います。糸は結び、残します。(図17)
- ⑪ ⑩で縫い付けた、しっぽの詰め物を本体の中ですらししっぽになるように、しっかり引っばります。(図18) ※引っ張る位置は(図17)の★確認



- ⑫ 引っぱったしっぽの先から
約4目のところを残り糸で
(図19~21)のように2回
縫ってしっぽを固定します。
残り糸は結んで本体の中に入れます



手・足・しっぽの作り方

※毛糸の色はそれぞれの本体の色と同じです。くさりあみでつくります。

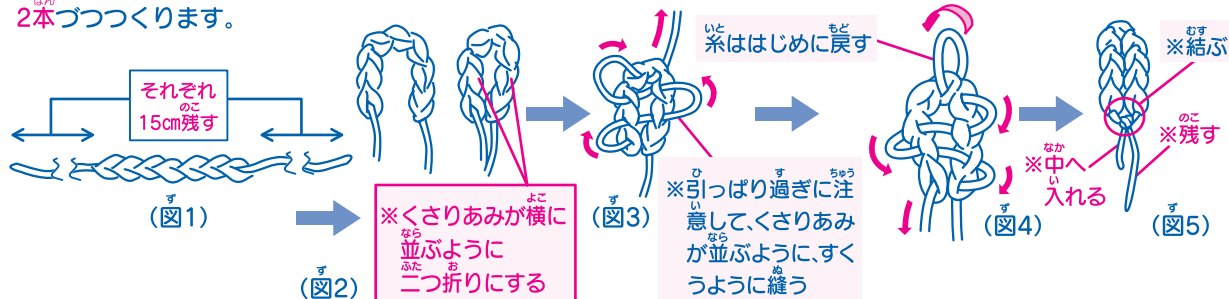
くさりあみの作り方

- ① 人差し指の後ろから前に毛糸を通す。
 - ② 指を下からくるとまわして2回ねじる。
 - ③ 輪に親指に通す。
 - ④ 親指と人差し指の間に長い糸をかけて、かけた糸を引っぱる。
 - ⑤ 引っぱった糸を人差し指をかけ両方の糸を引っぱり目の大きさを整える。
できたこれが「1目」
 - ⑥ 目の下を抑えながら③~⑤をくり返しくるとつくりやすい。
- 短い糸を持つ
- 1目は米粒ぐらいの大きさにするのがオススメ。

足／しろくま・ねこ・とんかつ・とかげ

(各本体の色と同じ毛糸/くさりあみ)

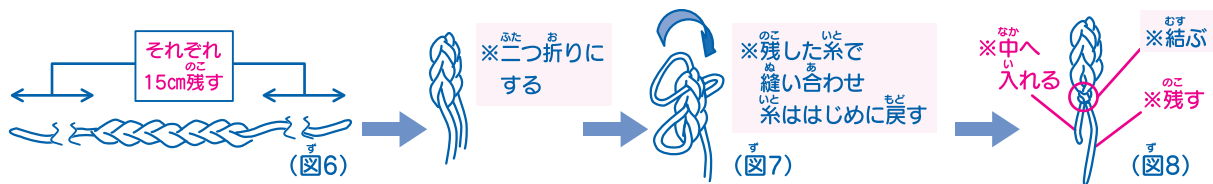
- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみが並ぶように二つ折りにし(図2) 残した毛糸で引っぱり過ぎに注意しながら、となりあった、くさりあみをすくうように、縫い合わせます。(図3) 端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図4)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図5) 同じものを2本ずつつくります。



手／しろくま・ねこ・ぺんぎん?・とんかつ・とかげ

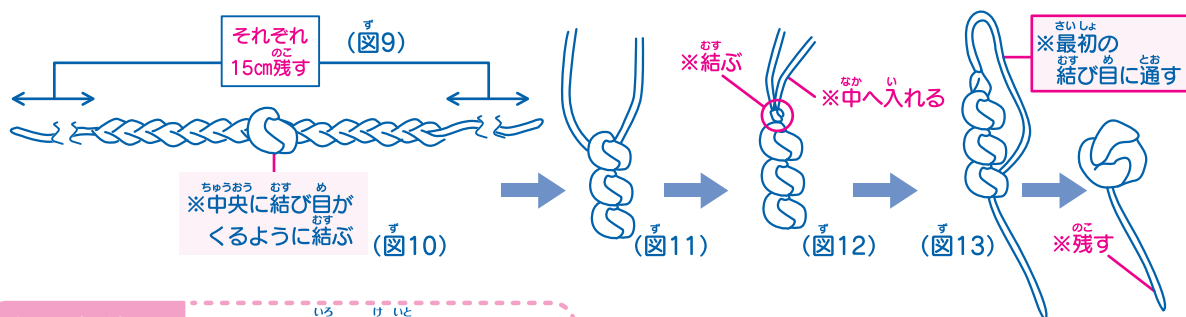
(各本体の色と同じ毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで7目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図6)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図7)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図8) 同じものを2本ずつつくります。



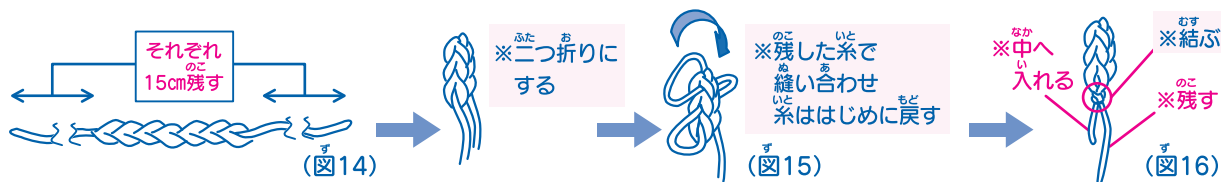
しっぽ／しろくま (白の毛糸／くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで16目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図9)
- ② くさりあみのひもを(図10)のように結び目が中央にくるように結びます。同じようにあと2回結びます。(図11)
- ③ くさりあみの両端に残した糸を結び1本は、くさりあみの中へ入れます。(図12)
- ④ 残りのもう1本は最初の結び目に通し引っぱり、しろくまのしっぽをつくりまします。糸は切らずに残します。(図13)



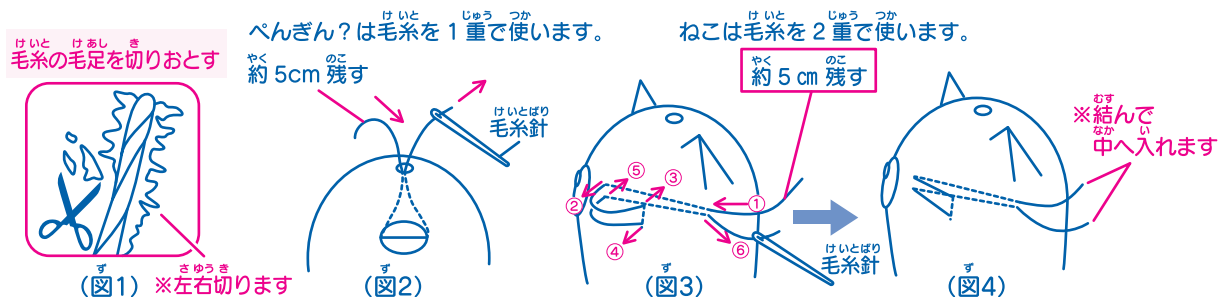
しっぽ／ねこ (クリーム色の毛糸／くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図14)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫い始めに戻します。(図15)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図16)



ぺんぎん?のくちばし／ねこのひげ

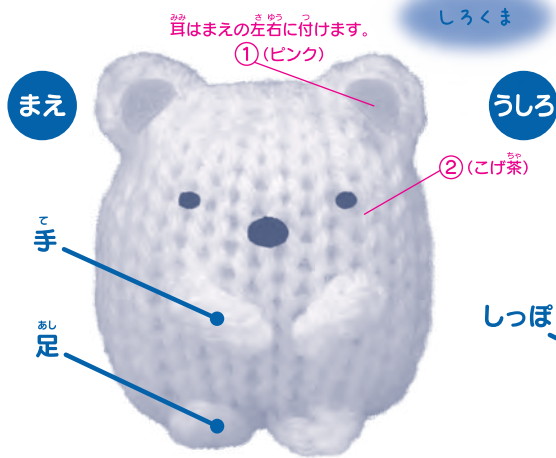
- ① ペンギん?、ねことも、とんかつの茶の毛糸を使います。毛糸の毛足をはさみで切りおとして使います。(図1)
- ② ペンギん?のくちばしは、糸を約5cm残して、頭のてっぺんのしぼり口から入れ、フェルトのくちばしの上を通し頭のしぼり口へ出します。(図2) 糸を結んで中へ入れます。



- ③ ねこのひげは、写真を参考にしながら、糸を約5cm残して耳の下、2目のところから①～⑥の順に糸を通して2本のひげにします。(図3) もう片方のひげも同じように縫います。糸は結んで中に入れます。(図4)

本体に手・足・しっぽ・フェルトパーツをつけます

- ① それぞれ手・足・しっぽは写真を参考に本体に縫い付けます。縫い付けにはそれぞれの残しておいた長い方の糸を使います。編み目に縫い付けましょう。
- ② フェルトパーツをそれぞれの写真を参考に本体に貼り付けます。縫い付けた手から近いところから貼り付けます。

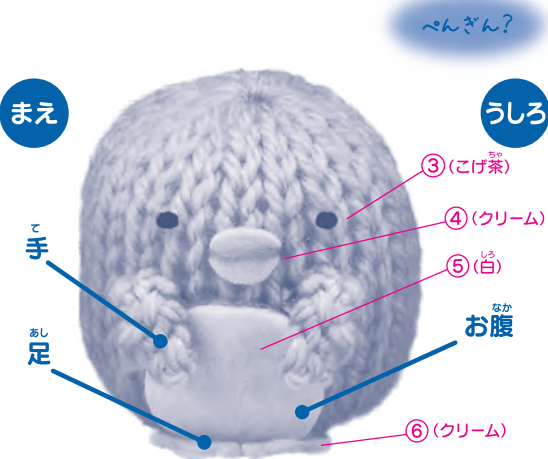


しろくまのはなを

ちゅうしんは中心に貼ってから、

めは目を貼ると、

かおりづくりやすいよ♪



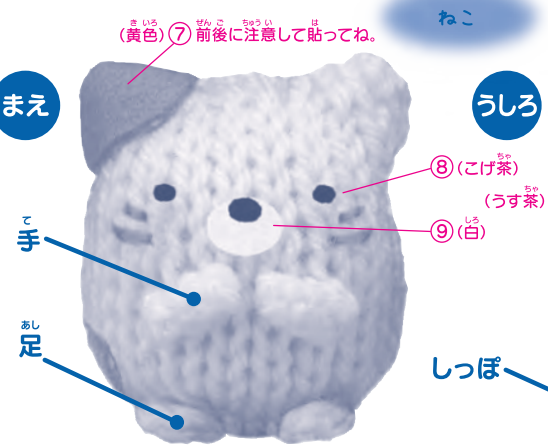
くちばしを目印に

めは目を貼ろう!

なかさきはお腹を先に貼ってから

あしは足を貼ってね☆

さゆうりを
むたせたら
もっとかわいい!?

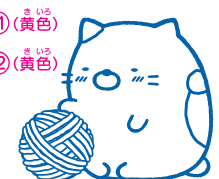


ねこの鼻と鼻の周りを

くっつけ中心に貼ってね。

みみはまえから見て

ひだりみみは左耳に包むように貼ろう♪



とんかつ

まえ

うしろ

て
手

あし
足

とかげ

まえ

うしろ

て
手

あし
足

くち ちゅうしん は
口を中心貼ってから
め は ひょうじょう
目を貼ると表情が
つくりやすいよ♪毛糸が
ふわふわなのでしっかり
貼ろう!



くち ちゅうしん は
口を中心貼ってから
め は
目を貼るとやりやすいよ!
せ 背ひれはうしろのしっぽより
うえ ちゅうしん
上の中心につけてね♪



すみっコあみぐるみマスコットのできあがりっ♪

みにっコポンポンマスコットとあわせれば
すみっコの世界が広がるよ!

すみっコ
うしろ姿が
とっても
キュート♡



はこ
箱に
ぎゅうぎゅう
すみっコ

たぴおか
いっぱい!



やっぱり
ミニがおちつくんです

あのシーンを
再現
できちゃう?!



おうちにある
毛糸でも
いろんなものが
つくれるよ!

すみっコあみぐるみマスコットがつくれたら、
ほかのものにもチャレンジしてみてね!
アイディア次第でこんな毛糸アイテムもつくれちゃう?!

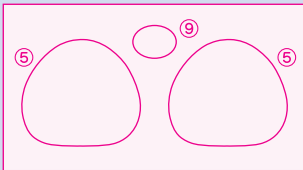


セット内容でつくれるすみっコあみぐるみで使用するフェルトパーツです。

この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には十分注意してください。

フェルトパーツ配置の仕方

白のフェルト



- ⑤ぺんぎん?&とかげのお腹
- ⑨ねこの鼻の周り

うす茶のフェルト



- ⑩ねこの背中
柄小サイズ

黄色のフェルト



- ⑪ねこの背中
の柄大サイズ
- ⑫ねこの脇の柄
- ⑬ねこのしっぽ
- ⑦ねこの耳(前後に注意)

ピンクのフェルト



- ⑮とんかつの口
- ①しろくまの目×2

水色のフェルト



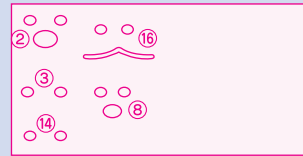
- ⑬ととかげの背びれ

クリーム色のフェルト



- ⑥ぺんぎん?の左足
- ⑥ぺんぎん?の右足
- ④ぺんぎん?のくちばし

こげ茶のフェルト



- ②しろくまの目・鼻
- ③ぺんぎん?の目
- ⑭とんかつの目
- ⑧ねこの目・鼻
- ⑬ととかげの目・口

ページの各キャラの番号を参考にフェルトパーツを貼り付けてください。一部余分にフェルトが余るようになっています。

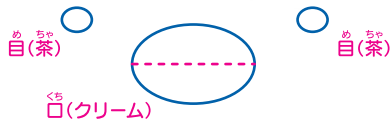
----- 口の線の位置

ぺんぎん?

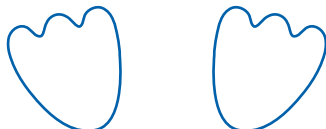
しろくま

----- ひげの位置

ねこ



口(クリーム)



ひだりあし
左足(クリーム)

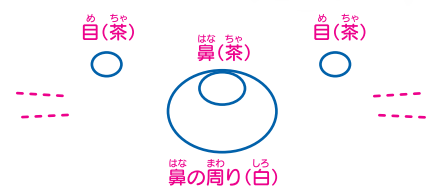
みぎあし
右足(クリーム)



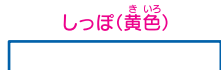
鼻(茶)



耳(ピンク)×2



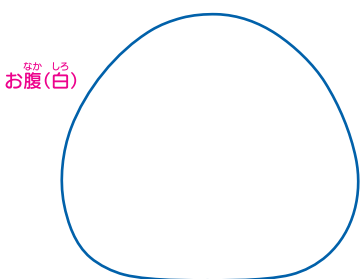
鼻の周り(白)



しっぽ(黄色)

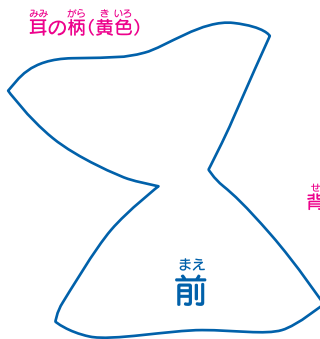
脇の柄(黄色)

背中の柄大サイズ(黄色)



なか
お腹(白)

※お腹は、ぺんぎん?・とかげ共通です。



耳の柄(黄色)

まえ
前

背中の柄小サイズ
(うす茶)

背びれ(水色)

とんかつ

とかげ



口(ピンク)



口(茶)

※背びれは2枚を貼り合わせてください。

あ カンタンに編みものが できるよ♪

とってもカワイイ
プレゼントに♪



カワイクラッピングして
友だちにプレゼントしちゃおう♡



あむあむたまごピンク Q&A

Q.うまく編めない。

A.1ページめの「毛糸をセットしましょう」をよく読んでからはじめてください。

Q.目が飛んでしまいます。

A.毛糸を引っぱらないように、テンションにかけてから、一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。輪あみの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。

Q.毛糸がテンションや針の中からまっけてしまいシリンダーがまわらなくなりました。

A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめてはずしてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。

Q.毛糸玉を編む前にほぐさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。

A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。

1ページめの「毛糸をほぐしましょう」を読んでから編みはじめてください。

Q.毛糸の結び目がテンションに通らず引っかかってしまった。

A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページめの「毛糸がなくなりそうになったら、色をかえたいときは…」をよく読んでください。

Q.付属の毛糸以外で編めますか？

A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。

Q.あみぐるみ以外のものはできますか？

A.できます。いろいろアレンジしてみてください。

シリンダーが止まりハンドルだけが
まわっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。

●きりかえダイヤルを平あみ(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けたとき。

●並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってもハンドルをまわし続けたとき。

家庭用品品質表示法に基づく表示

毛糸(白・黄緑・クリーム・水色):アクリル100% 毛糸(茶):ポリエステル100%
表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループお客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

0570-041031

電話受付時間 10～17時 月曜日～金曜日(土日・祝日を除く)

【タカラトミーサポート】※本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

発売元:株式会社タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

© TOMY

MADE IN INDONESIA

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

